

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校ALT配置事業			会計	款	項	目	大	小
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	西村 淳				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内中学校全生徒	意図	言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、聞く、話す、読む、書くという4つの技能をバランスよく育成する。
事業内容	英語を主言語とする外国語指導助手（ALT）を全校に配置する。職務内容としては、①中学校における英語指導の補助 ②英語科学習指導案、及び教材作成補助 ③英語科教員との指導法に関する協議、研修 ④特別活動及び課外活動への協力 ⑤英語スピーチコンテストへの指導 ⑥その他所属長が必要と認める職務など、生徒が日常的に外国語に接することができるような環境を整える。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度までは各中学校へのALT配置を業者との派遣契約で実施してきた。平成23年度からはALT4名を、平成24年度からは8名を市が直接雇用し、各校1名ずつのALT配置とした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	ALT指導日数	2,005	2,027	2,022	日	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	ALTを全校配置することで、ネイティブスピーカーと日常的に接する環境が整い、生徒たちは英語を身近に感じるようになってきている。	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	ALTを全校配置することで、ネイティブスピーカーと日常的に接する環境が整い、生徒たちは英語を身近に感じるようになってきている。また、各学校の計画に従って、年間を通じたチームティーチングを行うことができています。
事務事業の総コスト(a=b+c)	41,179,980	41,274,947	40,765,369	
事業費(b)(円)	36,649,080	36,845,027	36,414,649	
うち一般財源	36,649,080	36,845,027	36,414,649	
職員給与と費(c)(円)	4,530,900	4,429,920	4,350,720	
人役・職員(人)	0.66	0.66	0.66	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	ALTによる指導をより一層充実させる。	③取組における課題(Check)	小学校の英語教科化及び学習指導要領の改訂にともない、中学校ALTの指導力向上を図る研修の実施が望まれる。
②H30に実施した取組(Do)	中学校英語科教員及びALT対象の研修を実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	ALTの指導力向上を図るための研修を充実させ、よりよいチームティーチングによる授業作りを行う。